

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成20年4月10日(2008.4.10)

【公開番号】特開2001-318781(P2001-318781A)

【公開日】平成13年11月16日(2001.11.16)

【出願番号】特願2001-50973(P2001-50973)

【国際特許分類】

G 0 6 F	3/12	(2006.01)
B 4 1 J	29/38	(2006.01)
H 0 4 N	1/00	(2006.01)
B 4 1 J	3/60	(2006.01)

【F I】

G 0 6 F	3/12	P
B 4 1 J	29/38	Z
H 0 4 N	1/00	E
B 4 1 J	3/00	S

【手続補正書】

【提出日】平成20年2月26日(2008.2.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 両面印刷可能な画像形成装置であつて、  
出力するデータを受信する受信手段と、

前記受信手段により受信されたデータを両面印刷する際に、両面印刷に必要な金額の投入を判断する判断手段と、

前記判断手段による判断に応じて、片面印刷も行わないように制御する制御手段と、を有することを特徴とする画像形成装置。

【請求項2】 請求項1に記載の画像形成装置において、

前記判断手段による判断に応じて、料金の投入を促す通知を行うことを特徴とする画像形成装置。

【請求項3】 請求項1に記載の画像形成装置において、

前記受信したデータを両面印刷している際に、両面印刷に必要な金額が不足すると、両面印刷を中断することを特徴とする画像形成装置。

【請求項4】 請求項1に記載の画像形成装置において、

両面印刷する際に、前記受信したデータが両面分あるか否かを判別し、該判別に応じて、他のデータを受信するように制御することを特徴とする画像形成装置。

【請求項5】 請求項1に記載の画像形成装置において、

両面印刷している際に、前記受信したデータが片面分しかなくなると、該片面分のデータを最終ページとして、片面印刷することを特徴とする画像形成装置。

【請求項6】 両面印刷可能な画像形成装置の制御方法であつて、

出力するデータを受信する受信工程と、

前記受信工程において受信されたデータを両面印刷する際に、両面印刷に必要な金額の投入を判断する判断工程と、

前記判断工程における判断に応じて、片面印刷も行わないように制御する制御工程と、を有することを特徴とする画像形成装置の制御方法。

【請求項 7】 請求項 6 に記載の制御方法において、  
前記判断工程における判断に応じて、料金の投入を促す通知を行うことを特徴とする画像形成装置の制御方法。

【請求項 8】 請求項 6 に記載の制御方法において、  
前記受信したデータを両面印刷している際に、両面印刷に必要な金額が不足すると、両面印刷を中断することを特徴とする画像形成装置の制御方法。

【請求項 9】 請求項 6 に記載の制御方法において、  
両面印刷する際に、前記受信したデータが両面分あるか否かを判別し、該判別に応じて、他のデータを受信するように制御することを特徴とする画像形成装置の制御方法。

【請求項 10】 請求項 6 に記載の制御方法において、  
両面印刷している際に、前記受信したデータが片面分しかなくなると、該片面分のデータを最終ページとして、片面印刷することを特徴とする画像形成装置の制御方法。

【請求項 11】 請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 項に記載の画像形成装置の各手段としてコンピュータを機能させるための、コンピュータにより実行されるプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

【課題を解決するための手段】

本発明の画像形成装置は、両面印刷可能な画像形成装置であって、出力するデータを受信する受信手段と、前記受信手段により受信されたデータを両面印刷する際に、両面印刷に必要な金額の投入を判断する判断手段と、前記判断手段による判断に応じて、片面印刷も行わないように制御する制御手段と、を有することを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 8】

また、本発明の画像形成装置において、前記判断手段による判断に応じて、料金の投入を促す通知を行うことを特徴とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 9】

また、本発明の画像形成装置において、前記受信したデータを両面印刷している際に、両面印刷に必要な金額が不足すると、両面印刷を中断することを特徴とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 0】

また、本発明の画像形成装置において、両面印刷する際に、前記受信したデータが両面分あるか否かを判別し、該判別に応じて、他のデータを受信するように制御することを特徴とする。

## 【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

また、本発明の画像形成装置において、両面印刷している際に、前記受信したデータが片面分しかなくなると、該片面分のデータを最終ページとして、片面印刷することを特徴とする。

## 【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

また、本発明の画像形成装置の制御方法は、出力するデータを受信する受信工程と、前記受信工程において受信されたデータを両面印刷する際に、両面印刷に必要な金額の投入を判断する判断工程と、前記判断工程における判断に応じて、片面印刷も行わないように制御する制御工程と、を有することを特徴とする。

## 【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

また、本発明の画像形成装置の制御方法において、前記判断工程における判断に応じて、料金の投入を促す通知を行うことを特徴とする。

## 【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

また、本発明の画像形成装置の制御方法において、前記受信したデータを両面印刷している際に、両面印刷に必要な金額が不足すると、両面印刷を中断することを特徴とする。

## 【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

また、本発明の画像形成装置の制御方法において、両面印刷する際に、前記受信したデータが両面分あるか否かを判別し、該判別に応じて、他のデータを受信するように制御することを特徴とする。

## 【手続補正11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

また、本発明の画像形成装置の制御方法において、両面印刷している際に、前記受信したデータが片面分しかなくなると、該片面分のデータを最終ページとして、片面印刷することを特徴とする。

【手続補正12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

また、本発明のプログラムは、上記いずれかの画像形成装置の各手段としてコンピュータを機能させるための、コンピュータにより実行されるプログラムである。